

**島根県公立小中学校
事務職員研究会**
会長：吉賀孝則
(浜田市立国府小学校)
編集：情報部
VOL.69 2020.12.12 (時雨号)
発行責任者 坂井 佳恵 (大和中学校)
島事研ホームページ
<http://www.oh-net.com/~kenjiken/>

爽

SOU

【目次】

- ▶ 会長就任にあたって (会長 吉賀孝則)
- ▶ 事業部の取組
- ▶ 令和2年度島事研調査の結果
- ▶ コロナ禍における事務グループの取組紹介
- ▶ 全事研に関する情報提供
- ▶ 人権コーナー
- ▶ まんが「しまじいとけんくん」
- ▶ 編集後記



会長就任にあたって

会長 吉賀孝則



本来ならば研究大会で皆さまの前でごあいさつをすべきところですが、コロナ禍により役員会の緊急事項として、年度初めに研究大会の中止を決定いたしました。そのため、大変遅くなりましたが書面にてごあいさつ申し上げます。

6月に行った第1回代議員会(書面決議)で承認され、今年度(1期:2年)より会長の職を担わせていただくことになりました、浜田市立国府小学校の吉賀孝則です。長きにわたり本会の充実・発展のためにご尽力された青山悦子前会長の後を引き継ぐことになり、会長としての重責を痛感しております。さらに、昨年度は第50回記念研究大会が盛大に開催され、改めて本会の歴史の長さと感じております。本会の目的「会員相互の連携をもとに学校事務の研究、学校事務職員制度の確立を推進し、会員の資質向上を図り、もって本県学校教育に寄与する」の達成及び発展のために会員の皆さまのご理解とご協力、関係者の皆さまのご支援をいただきながら務めて参りたいと思います。本当に微力で力不足は否めませんが、どうぞよろしく願いいたします。

さて、10月23日に第2回代議員会を開催し、今年度の事業・予算、島事研ビジョン2020が承認されました。これにより、本格的な島事研活動のスタートとなりました。しかし、コロナ禍を受け、今年度が開催年度である島事研セミナーは中止(来年度へ延期)といたしました。研究大会に続き、島事研セミナーも中止となり主要事業が開催できず、会員の島事研に対する意識・意欲の低下が懸念されます。役員会及び各事業部としては、島事研HP等を活用し情報発信を行い、会員の方のモチベーションの維持に努めていきたいと思っております。そして、本会の活動の基盤となるのは、会員皆さまのご理解とご協力、そして取組です。是非とも「島事研ビジョン2020」をご覧ください、島事研活動を推進していただければと思います。

最後になりますが、コロナ禍が一日でも早く収束し、来年度には研究大会及びセミナーで会員の皆さまにお会いできることを楽しみにしております。



事業部の取組



研究部の今年度の取組は、なんと言っても「第六次研究中期計画の策定」につきます。現在「島事研ビジョン2020」のゴールである「つかさどるを形にする」に迫るための計画を、部内で意見交換を行いながら立案している最中です。「私たちはなぜ、なんのために研究活動を行っているのか」ということを意識しながら検討しています。

もしかしたらこれまでとは少し変わった計画ができあがるかもしれませんが、どのような研究中期計画になるのか、策定を楽しみにお待ちしております。

来年度には、皆さまにお示いたします。

研究部 部長 沖田 和彦

研修部では、研究大会の企画、セミナーの企画・運営、研修制度の確立、研修の充実について活動を行っています。残念ながら今年度は研究大会、セミナーが中止となりましたが、来年度以降の開催に向け、研究大会の運営の見直しやセミナーの意義や目的を改めて考え、検討していきます。

また、学校事務職員の職務が「事務に従事する」から「事務をつかさどる」に改正され、学校事務職員がより主体的・積極的に学校運営に参画することへの期待が込められる中、新規採用学校事務職員の研修の充実を図ることを急務とし、「新規採用学校事務職員研修プログラム(案)」を作成しました。この新規採用者の支援プログラムを提案し、プログラムの周知と活用の推進を行います。

また、任命権者研修についてアンケートを実施し、今年度の研修の在り方等も含め研修内容の検証を行い、研修の充実につながるよう教育センターへ提案をしていきます。

研修部 部長 土井 こそえ



情報部の主な活動内容は、広報誌「爽」の発行です。例年は年3回発行しているところですが、今年度は2回発行の予定です。会員の皆さんにとってためになる内容にしたいという想いで、広報誌づくりに取り組んでいるところです。

また、島事研ホームページの管理・運営を行い会員の皆さんや関係諸機関等への情報発信を行っています。発信された情報がもととなり、会員相互の交流や取組の参考につながることを期待します。

広報活動の他に、学校事務職員情報の収集・整備や、全事研調査の協力も行っています。島事研の活動を皆さんにわかりやすく伝えられるよう、広報誌、ホームページづくりに取り組みたいと思っています。

情報部 部長 坂井 佳恵

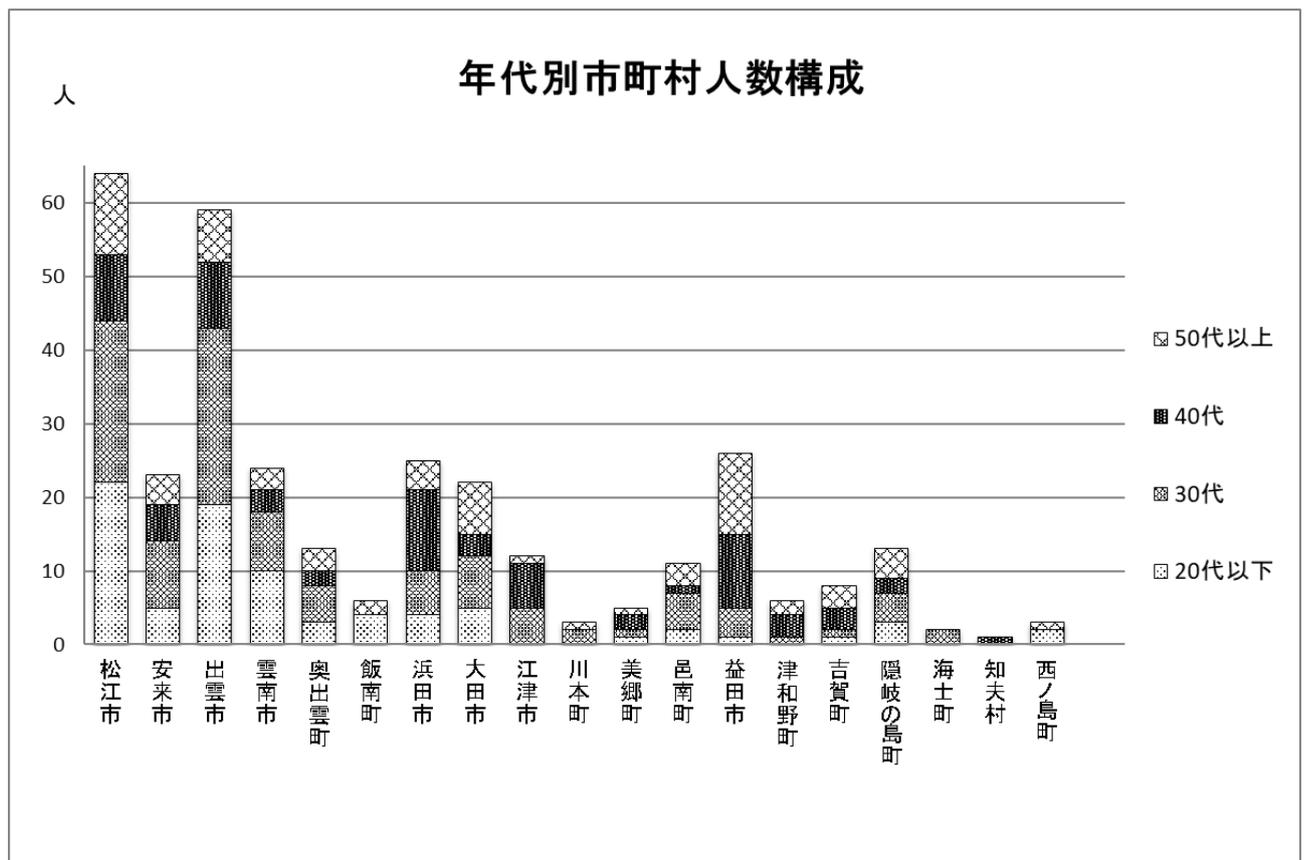
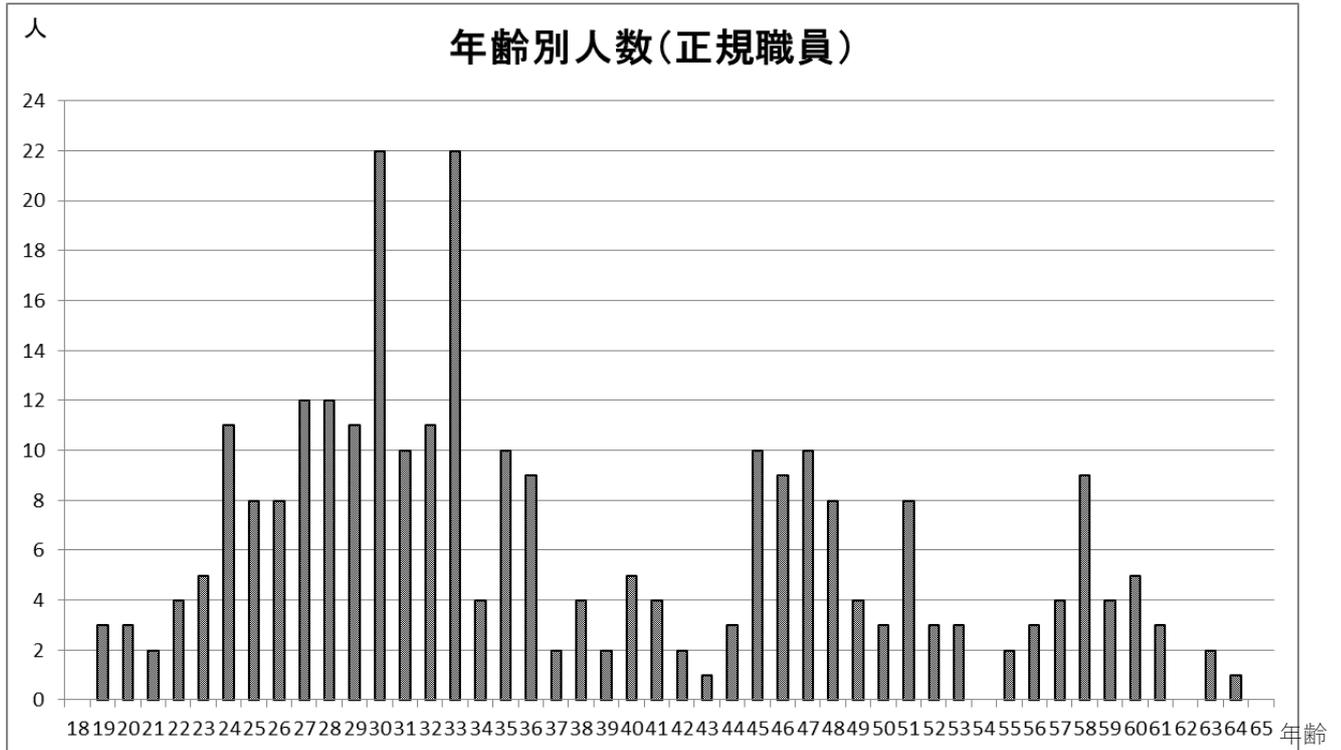


令和2年度 島事研調査の結果

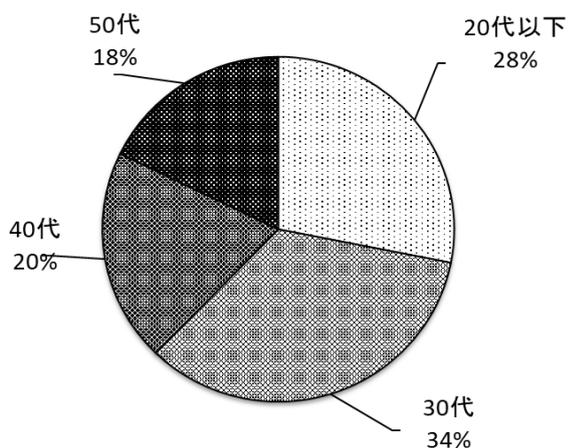
(アンケート回収率 99%・令和2年5月1日現在)

島事研では、島根県内の小中学校・義務教育学校に勤務する学校事務職員や事務グループの状況について毎年調査を行っています。この調査は島事研の様々な活動に活用しています。今年度も皆様のご協力を得て、まとめることができました。例年ならば研究集録に掲載しておりましたが、今年度は広報誌に掲載することで報告に代えさせていただきます。

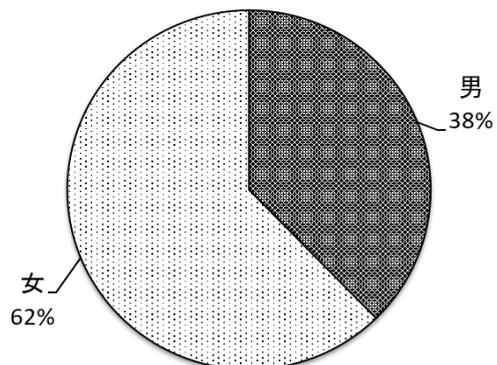
ここには年齢構成等のグラフを載せておりますが、事務グループ一覧表も島事研ホームページ(代議員会資料)に掲載していますのでご覧ください。



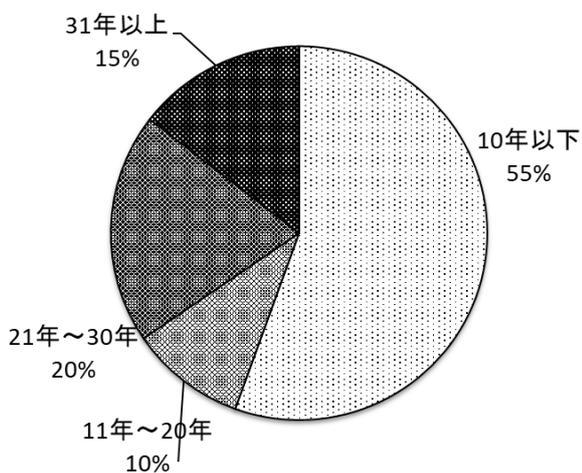
年代別構成(正規職員)



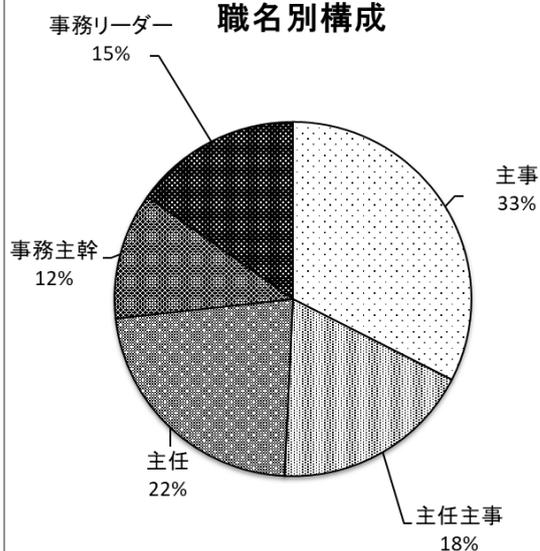
男女別構成(正規職員)



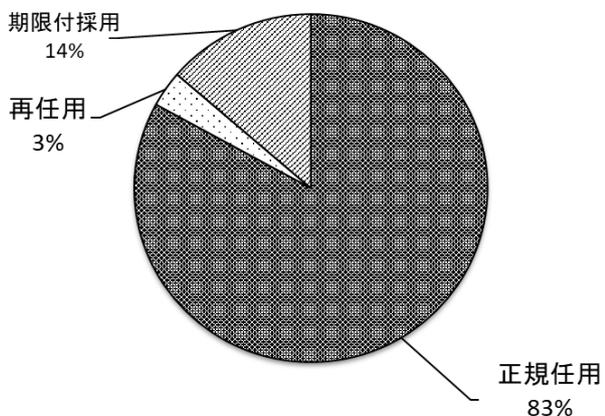
経験年数(正規職員)



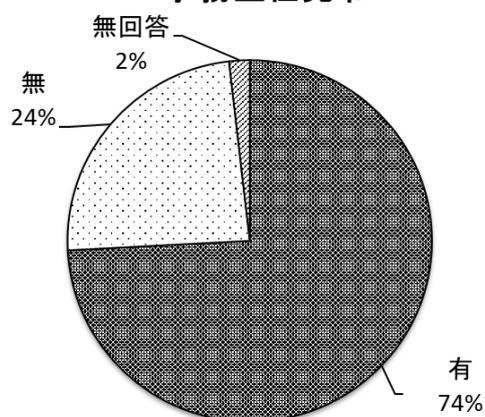
職名別構成



正規・期付・再任用別構成



事務主任発令



コロナ禍における事務グループの取組紹介

邑南町東部グループ

今年度、邑南町東部グループに新規採用者2名が加わり、6校6名で活動をしています。年度当初は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からグループ会の中止等を余儀なくされました。しかし、新規採用者への支援を継続させるためにはグループ会は欠かせないという思いからグループ会議をWeb会議で行うことにしました。Web会議の運用にあたり「Web会議システムの運用マニュアル」を定め、邑南町教育委員会の承認を得て行っています。これは、管理運用や機能と制限、ネットワークと機器、利用場所、セキュリティ上の留意事項等細かく定め、利用する私たちが運用マニュアルに沿って安心して会議を行えるよう管理職の助言をもとに作成したものです。

現在は三密を回避して通常のグループ会活動も行っていますが、Web会議も継続して行っています。未だに、画像や音声の不調等トラブルもありますが、今後学校におけるオンライン授業やオンライン会議（研修）の導入が進むうえで、こうしたトラブルを経験し、解決策を身につけておくことも大切だと考えています。また、必要な機器や利用できる環境の整備をしていかなければなりません。本格的な導入に先駆けて事務職員側から積極的に動いていけるよう今後もWeb会議を継続していきたいと考えています。

Web会議だと、会議のための移動時間や旅費の経費削減につながります。とても効率的ですよね!



電話と違って顔を見て話せたり資料も画面をとおして確認できたりするところがいいです!トラブルさえも楽しんでグループ会をしています(^^)



全事研に関する情報提供

コロナ禍により令和2・3年度事業が変更となりましたのでお知らせします。

1. 第52回全事研大会(岐阜大会)
 - 中止に伴い、代替事業としてのオンラインによる動画・資料配信
 - ①期間:令和3年1月4日(月)～2月28日(日)予定
 - ②参加費:無料
 - ③オンラインによる動画・資料配信内容
 - 1) 令和3年1月4日～2月28日(録画配信)
 - ・会長あいさつ ・全事研活動報告 ・第53回全事研大会(埼玉大会)PR
 - ・本部研究提案 ・分科会担当支部発表(希望支部のみ)
 - 2) 令和3年1月9日ライブ配信(以降2月28日まで録画配信)
 - ・本部研究討議(リアルタイムでの研究討議)
 - 3) 令和3年2月15日～2月28日
 - ・シンポジウム「テーマ:目指す子ども像を実現するカリキュラム・マネジメント」
2. 第53回全事研大会(埼玉大会)
 - 令和4年1月27日～1月28日(さいたま市)
 - (東京オリンピック開催と同時期開催を回避するため)
3. 全事研セミナー
 - 令和2年度は中止
 - 令和3年度は非集合型で企画・運営を行い、令和3年7月に開催予定
4. 中国地区公立小中学校事務研究大会
 - 令和2年度は中止(広島支部主管)。令和3年度は島根支部主管で開催予定



